

## 江戸川区の子育て家族像

専業主婦は過半数以上いるが減少傾向。就労意欲は85.7%がもち、実際に共稼ぎ世帯も増加している。両親のそばに持家をもつ世帯が増える傾向が見受けられ、89.5%が今後も区内で子育てしたいと願っている。ただし、地域格差があり、見てもらえる親族や持家率が高いのが小岩地区(88.6%、66.1%)で、低いのが葛西南地区(67.2%、33.1%)となっている。

子どもが生まれると、1歳までは50%近くが子育てひろばを利用し、共働き世帯では1歳6か月程度まで育休をとり、保育園に入園させる世帯が最も多い。

専業主婦世帯は幼稚園に入園させ、預かり保育の利用も40.7%に上る。

認定こども園への利用意向については、保育ママ利用者が25%、認証保育所18.2%、保育園13%、幼稚園5.5%となっておりそれほど高くはない。

利用している施設を今後も利用したいという意向は幼稚園の預かり保育の利用者が92.3%、保育園が85.6%、保育ママ81.3%で高い率であるが、認証保育所を利用している世帯が引き続き認証保育所を利用したいという希望については36.4%となっている。

総じて子育ては楽しいと67.8%が感じ、配偶者も気軽に相談に乗ってくれる傾向が増している。子育て情報の入手はホームページやメールニュースが多く、幼稚園や保育園も重要な情報元となっている。

江戸川区の子育て環境は全体的に良いと87.8%が感じており、幼稚園、保育園、認証保育所の利用者の順に評価が高い。ただし、子育てと仕事の両立の環境については、1歳の保護者の評価が特に低く、保育園入園と職場復帰が課題となっている様子。

地域のつながりはあると思わない世帯が多く課題であるが、保育ママやファミリーサポートを利用している世帯は各々68.8%、90%が地域とのつながりを感じており、これをどのように広げていくかを考えていかななくてはならない。さらに、ひとり親の孤立感は強く、13.5%が気軽に相談できる相手が少なく、32.7%が同じくらいの年齢の子どもを持つ親同士の付き合いがあまりないと答えている。

前回の調査に比べ共働き世帯が増加傾向ではあり、母親のフルタイム就労も増えている(17.8% 26.3%)。就労希望としては、現在のパート・アルバイトへの就労を続けたいと思っている世帯も若干増(40.1% 43.5%)。専業主婦への希望も倍増(7% 14.3%)している。全体的には専業主婦世帯が減少傾向ではあるが、景気の状態によっては増加の可能性も秘めており、幼稚園での預かり保育への需要が見込まれる。

教育・保育サービスを利用しない理由としては、サービスに空きがないので利用できない、と回答している世帯が17.7%ある。